

事業番号	07 05 05	事業改善シート (27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	技術専門校運営事業費			担当課	部局	産業労働部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	人材育成課		
	施策の総合的展開	1-1 信州をけん引するものづくり産業の振興		E-mail	jinzai@pref.nagano.lg.jp		
		4 人材の育成・確保		実施期間	S13 ~		
		1-6 職業能力の開発と安心できる雇用・就業環境づくり					
1 職業能力開発の推進							

1 事業の概要

目指す姿	新規学卒者、離転職者等を対象に、就業に必要な基礎的な技能・知識習得のための普通課程及び短期課程の職業訓練を実施することにより、県産業界の基盤を担う技能者を育成し、就業の促進を図る。		
現状 (予算編成時)	○若年労働力人口の減少、高学歴化、若者のものづくり離れ等により、本県経済を支える製造業等において若年技能者が不足している。 ○新規学卒者、離転職者を対象に、企業ニーズ、受講ニーズに即した職業訓練を実施する必要がある。		

県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】
	県民との協働による実施：実施は困難	産業界を担う技能者の育成と就業の促進のため、県が主体的に取り組む必要がある。 職業能力開発促進法第15条の7、第19条及び第28条並びに第9次長野県職業能力開発計画等。

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)							
			定員充足率	就職率				
	○普通課程の定員充足率75%程度を目標とする。	H23	71.1	83.6				
	○普通課程修了生の就職率87%程度を目標とする。	H24	84.5	85.7				
		H25	72.4	91.9				
		3年平均	76.0	87.1				
	② 事業内容 (単位:千円)							
		項目	実施方法	H27事業実績		H27		H28
					(当初)	(決算)	(当初)	
		技術専門校の管理・運営	直接	光熱水費、郵便費等	56,431	53,454	49,348	
	施設内訓練の実施	直接	外部講師の配置、教材の購入等	77,434	64,818	71,784		
	施設・設備の整備	直接	既存施設・機器の維持管理、新規機器の導入	86,938	83,663	86,088		
	指導員研修の実施	直接	部局内専門研修、資質向上研修(外部研修)	4,571	1,630	3,747		
			合計	225,374	203,565	210,967		

事業コスト	区分(単位:千円)					成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越					項目	H26末(実績)	H27		H28目標	
		当初予算	243,846	358,298	225,374	210,967			目標	成果		達成状況
		補正予算	151,837	-11,100	-9,457		定員充足率	H27.4 71.9%	75%	H28.4 65.8%	未達成	77%
		合計(A)	395,683	347,198	215,917	210,967	修了生の就職率	H27.3 91.4%	87%	H28.3 93.4%	達成	90%
	Aの財源	一般財源	107,899	96,532	99,704	92,862						
		県債	0	0	0	0						
		国庫支出金	241,924	94,856	89,716	88,976						
		その他	45,860	155,810	26,497	29,129						
		決算額(B)	367,654	331,039	203,565							
概算人件費	職員数(人)	64.00	65.00	65.00	57.00							
	概算人件費(C)	528,512	536,770	537,940	471,732							
	概算事業費(B(A)+C)	896,166	867,809	741,505	682,699							

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> きめ細やかな就職指導・求人開拓活動に加え、景気の回復基調により求人が増えたため、前年度(91.4%)を2ポイント上回るなど就職率をさらに上げることができた。 ハローワークや高校への訪問、オープンキャンパスの開催などの募集活動を行ったものの、景気の回復基調による求職者の減少に伴い技術専門校への入学者が減少し、定員充足率の目標は達成しなかった。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 <ul style="list-style-type: none"> 修了生の就職率については、引き続き就職指導との支援体制を維持し、修了生の就職をきめ細かくサポートしていく。 定員充足率については、カリキュラムの見直しや施設や機器の整備を通じて、地域ニーズに応えた魅力的な校づくりを進めていく。
--------------------	---